

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	ビデオ・オン・デマンドサービスにおけるユーザの視聴・コミュニケーション行動の分析
Title(English)	
著者(和文)	宮崎勝
Author(English)	Masaru Miyazaki
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第9865号, 授与年月日:2015年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:新田 克己,寺野 隆雄,出口 弘,山田 誠二,小野 功
Citation(English)	Degree:, Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第9865号, Conferred date:2015/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

論文要旨

THESIS SUMMARY

専攻： Department of	知能システム科学	専攻	申請学位（専攻分野）： Academic Degree Requested	博士 （工学）
学生氏名： Student's Name	宮崎 勝		指導教員（主）： Academic Advisor(main)	新田 克己
			指導教員（副）： Academic Advisor(sub)	

要旨（和文 2000 字程度）

Thesis Summary (approx.2000 Japanese Characters)

ビデオ・オン・デマンド(VOD)サービスの普及により、好きな番組を好きな時間に、好きな方法で見ることができるようになった。しかし、ユーザが自身の嗜好に合わせて自由に番組を選び、視聴できる環境は個人視聴を促進し、「孤独な視聴」につながる可能性がある。一方、近年登場したソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)は、誰もが情報発信者になりうるという点において、メディアの世界を大きく変えつつあり、番組視聴の共有体験を実現するサービスも登場している。著者は、VOD と SNS を組み合わせることによって番組視聴者同士の「横のつながり」を構築し、新しい番組との出会いを提供するソーシャルテレビプラットフォームの検討を公共放送の立場から進めている。

ユーザ同士のコミュニケーション行動と視聴行動の間の関係を分析するためには、ユーザが SNS 上でどのようにコミュニケーションし、それがどのように視聴行動に影響しているかという分析を、詳細な行動ログを分析することにより行う必要があるが、VOD と SNS を組み合わせた環境においてこれらの分析を行った既存研究は存在しない。そこで、実サービスに近い環境においてこれらの行動データを取得するため、ユーザ同士が交流することのできる SNS 機能をもった VOD サービスを試作し、参加者約 1000 人、実験期間 3 ヶ月にわたる大規模な実証実験を複数回実施した。

本論文ではまず、この実証実験で得られた結果に基づき、本ソーシャルテレビプラットフォームにおけるユーザのコミュニケーション行動と視聴行動の関係について検証を行う。検証の結果、コミュニケーションを積極的に行うユーザ層の活発な視聴行動や、番組レビューやコメント投稿を始めとしたソーシャルアクティビティが、他者の番組視聴行動を誘引している可能性を示した。

次に、どのようなコミュニケーションが視聴行動と関連しているのかを明らかにするために、ユーザ同士の詳細なコミュニケーションのネットワーク構造と視聴／投稿行動の関係を分析した。

その結果、複数の場組ジャンルにわたってコミュニケーションの中心となるユーザの存在を明らかにし、さらに番組に対するレビューやコメントの投稿から構成されるコミュニケーションネットワークの構造と、番組視聴／投稿行動の間には、ジャンルによって異なる強い相関があることが明らかとなった。

これらの検証により、ユーザの横のつながりを利用したサービスは、ユーザの視聴行動やコミュニケーションの活性化には有効であること、また、視聴行動を更に活性化する際には、ユーザのコミュニケーションのネットワーク構造指標を評価パラメータとして検証を行えることを明らかにし、新しい放送サービスプラットフォームの構築に向けた新たな知見を示した。

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。
Note：Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。
Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).

(博士課程)
Doctoral Program

論文要旨

THESIS SUMMARY

専攻：	知能システム科学	専攻
Department of		
学生氏名：	宮崎 勝	
Student's Name		

申請学位 (専攻分野)：	博士	(工学)
Academic Degree Requested	Doctor of	
指導教員 (主)：	新田 克己	
Academic Advisor(main)		
指導教員 (副)：		
Academic Advisor(sub)		

要旨 (英文 300 語程度)

Thesis Summary (approx.300 English Words)

The spread of Video on Demand (VOD) services is driving the creation of video viewing environments in which users can watch whatever they like, whenever they like. The recent appearance of social network services (SNSs), moreover, is bringing big changes to the world of media by enabling anyone to become a disseminator of information.

In NHK (public broadcaster in Japan), I am studying a social TV platform that combines VOD and SNS to create “horizontal links” between program viewers, and to facilitate encounters with new programs. To investigate user behaviors on this platform, NHK built a SNS site that enables program viewing by VOD, and conducted a large-scale, three-month verification trial with about 1000 participants.

This thesis reports on the relational analysis of participants’ viewing and communication behaviors. At first, I presented differences in program viewing behavior by user age group and communication style based on the results of this trial. Additionally, clarified that the user group most active in communicating with others had a knack for program discovery and was highly motivated in conveying newly discovered programs to other users, which underscores the potential of this social TV platform as a new program-discovery tool.

Next, in order to clarify how the users’ communication structures relate to the viewing and posting behaviors on this system, I described the communication structures in terms of network structures, and ran a correlation analysis of network indicators and user behavior indicators such as viewing and posting. As a result, I revealed that relationships between the users’ communication structures, viewing behaviors, and posting actions are characteristic of each program’s genre.

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note：Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).